坂戸市立南小学校　笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・南小だより

【学校教育目標】
○やさしく　（徳）
○かしこく　（知）
○たくましく（体）

学校経営方針　「明るく　元気に　爽やかに　すべての対応を親身になって丁寧に」

令和４年１２月７日
第２８号

『いざ、子供たちのため未来のために「今こそ！」』　【南小の学力向上施策②】

【本年度の重点】　○「学び合い、高め合う」教育（児童⇔教職員⇔家庭・地域）
子供たちの自己肯定感を高め、人間関係形成力と学力の向上を図る教育の推進

南小では、次代を担う子供たちの**「生きる力（生き抜く力）」**を育成するために、子供たちの**自己肯定感**を高め、**人間関係形成力と学力の向上**を柱として様々な教育活動を推進しています。時代の要請のもとに改訂された学習指導要領で提唱されている**「主体的・対話的で深い学び」**を実践するために**『学び合い』**による授業を推進するとともに、**「非認知能力」**や**「言語能力」**の育成、**「教科担任制」**等にも取り組むことで様々な成果が表れています。この度、日頃の教育指導を改めて振り返るため、**埼玉大学 教育学部 北田 佳子 教授**を指導者として招聘するとともに、他校の教員にも参観していただき、授業公開と研究協議・研修会を実施しました。引き続きご家庭と連携して、**「認めて・褒めて・伸ばす教育」**を根幹に、子供たちの**情意面**をさらに伸ばし、**規則正しい生活習慣**や**家庭学習の習慣化**、**家庭での言語環境や家読**等も含めて**「生きる力」**に繋げてまいります。

❑ **【本校の推進している『学び合い』とは】**　学習指導要領で重要とされる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、子供と子供、子供と教師が考えを交流し合うことで、新しい考え方や違う考え方に出会ったり、今までの考えを見直したりして、理解を深めることや「教材の価値」「ほんもの」に深く触れていく協働的課題解決型の学習活動です。

❑ **【なぜ『学び合い』なのか】**　技術革新など急速に変化する時代において、主体的に変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことができる人材の育成が重要とされています。そこで、授業中の『学び合い』を通して、主体的に課題に取り組み、他者との協働の中で学びを深めることができる子供の育成を図ります。

❑ **【『学び合い』の授業で大切なこと】**　ペアやグループで、分からないときは互いに支え合う。ペア・グループの中の困っている仲間に寄り添い、全員で課題を共有し解決していく。誰一人として見捨てない授業が基本。平等と安心を根底に沢山の仲間との交流を通して、「学びの場である学級が誰にとっても居心地のよい空間」になります。

❑ **【『学び合い』を通して南小が目指す集団づくりの2つの側面～ケアリング・コミュニティとラーニング・コミュニティ～】**
ケアリング・コミュニティ　⇒　互いに支え合いケアし合う生活集団の育成（安心・居場所のある教室づくり）
ラーニング・コミュニティ　⇒　共に学び合う学習集団の育成（活動と対話のある協働的な学びの展開）

❑ **【学力等の認知能力の向上のための非認知能力の育成】**　学力向上の根底となる自己肯定感（自己存在感、自己有用感など）、自信、意欲、共感力、協調性、自制心、勤勉性、忍耐力、やり抜く力などを集団生活の中で育成します。

❑ **【言語能力の確実な育成】**　教育活動全般を通して「言語環境の整備」と「言語活動の充実」を重点に置くことで、言語能力、コミュニケーション能力のもととなる「知識 / 技能、思考力 / 判断力 / 表現力」を育成しています。

❑ **【教科担任制の充実】**　本校独自の教科担任制で、専門性の充実した指導や小・中学校間の「滑らかな接続」を図ることはもとより、子供たちがより多くの教師と繋がり、自己有用感の向上を図っています。

「話し合い・教え合い・学び合い」
話し合いは
分かる子供は
相手を納得させることに必死
分からない子供は
時間が過ぎるのを待つだけ
教え合いは
ミニ先生ができて上下関係ができる
教師は「分からない子に教えてね」
と言う
分かる子は、
仲のよい子の所に行く
分からない子は、
ただ聴いているだけ
分からないことに寄り添えない
学び合いは
ここどうするの
ここが分からない
と言える

全ての児童の確かな学びを保障するために

児童の学力向上のために、南小学校教職員は1時間1時間の授業の充実を目指して日々研鑽を積んでいます。11月18日（金）には、**埼玉大学 教育学部 北田 佳子 教授**を指導者に迎え、全教職員が授業を公開し、ご指導をいただきました。3･4校時は、全て授業を参観し、5校時には、2年2組の国語の授業を全員で参観。児童下校後、全職員が意見交換をし、**「探究と協働の学びの創造」**について研修を深めることができました。以下、当日の授業の様子の一部をご紹介いたします。

【公開授業】２－２　国語　教材名「おもちゃの作り方をせつめいしよう」

【令和4年度 学び合い研修会】

○日時：11月18日（金）5校時

○公開学級：2年2組

○教科：国語科

1-1　ペア・グループでの対話

1-2　ICT 活用による演示

1-3　学習内容の明確化と板書

2-1　教材との対話

3-1　運動観察による発見学習

3-2　問い返し・つなぐ発問

3-3　支援員との連携による演示

4-1 学習課題に対する机間指導

4-2　指導内容の焦点化

5-1 問題解決に向けての条件整理

5-2 板書と ICT 活用のバランス

6-1 グループでの学びの深まり

6-2 興味/関心を引き出す問い

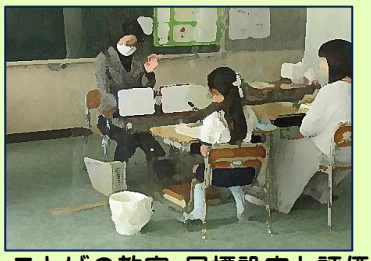
くすのき 個別課題の達成への称賛

さくら　学習の流れと手順

社会 心を引き寄せる問いかけ

理科　実態に即した教材開発

外国語 身近な資料の教材化


ことばの教室 目標設定と評価

「学び合い研修会」全体会

【校長室より】『学び合い、高め合う教育の推進～全ての子供に笑顔と質の高い学びを～』

今回の研修会で、改めて児童同士の学び合う（聴き合う）関係づくりや教材の価値に深く触れられるようにする、仲間と共に協力して課題を解決する活動を積極的に取り入れることの大切さを確認し合った。指導者の北田先生からの「南小の児童は、児童同士互いに学び合う（聴き合う）ことのできる心の優しさ、関係性ができている。」という言葉を励みに、児童の笑顔（＝「できる･わかる喜び」「仲間と繋がり、協力し合える喜び」）のために日々研鑽を積んでいきたい。 ／『凡庸な教師は指示をする ／ 良い教師は説明する ／ 優れた教師は範となる ／ そして、偉大な教師は子供の内なる心に火をつける』。子供たちの心に火を灯し続ける存在であり続けたい。